

臨床研究に関するオプトアウト揭示

日付：2026 年 7 月 15 日

【患者・研究対象者の皆様へ協力をお願い】

当研究室では、以下の臨床研究を行っております。本研究では、研究対象となる既存試料・情報を、医学的研究に使用するために個人が特定されない形で利用させていただきま
す。本研究への情報提供・利用を望まれない方、および研究に関するお問い合わせなどがあ
る際は、下記の問い合わせ先へご連絡をお願いいたします。

【研究課題名】

α シヌクレイノパチーの病態解明とバイオマーカー開発に関する研究

【研究の目的と意義】

パーキンソン病やレビー小体型認知症を含むレビー小体病では、原因タンパク質である α -シヌクレインが脳内に伝播・蓄積し、運動機能と認知機能が障害されます。現在の診断法では疾患が進行してからの確定診断が主流であり、早期診断は実現していません。

本研究では、パーキンソン病、レビー小体型認知症、アルツハイマー病、多系統萎縮症患者、軽度認知機能障害者、および健康成人より収集された既存試料・情報を用い、 α -シヌクレインや Tau、脂肪酸結合タンパク質（FABP3、FABP7）が、これらの疾患の超早期診断や、他の認知症・運動疾患との識別を可能にするバイオマーカーとして有用かどうかを検討します。また、FABP3 の選択的阻害薬 MF1 を投与された健康成人由来の試料を用いて、FABP3 阻害に伴うバイオマーカーの変動を探索的に評価します。

本研究により、神経変性疾患を早期に予測・鑑別することが可能となれば、患者様の層別化や個別化治療、発症前の早期治療介入につながり、患者様の QOL 向上や医療・介護費の削減にも貢献できると考えています。

【研究の方法】

- 研究実施期間：学長許可後～2029 年 3 月 31 日
- 対象：東北大学において「東北大学倫 19-5（パーキンソン病および関連疾患の診断バイオマーカー探索研究）」にご協力いただいた方、および一般社団法人東北治験審査機構（ACTIVATO）で承認された医師主導治験「jRCT2021260006（パーキンソン病関連疾患に対する新しい治療薬 MF1 の安全性を調べる臨床試験）」にご参加いただいた方
- 利用する試料・情報：
 - ・国立病院機構仙台西多賀病院にて収集された血漿試料（パーキンソン病、レビー小体型認知症、アルツハイマー病、軽度認知障害、多系統萎縮症患者および健康成人 計 800 例）

- ・東京都健康長寿医療センターにて収集された剖検脳試料（12例）
- ・相生会墨田病院にて収集された血漿試料・脳脊髄液試料（MF1 治験参加者 計 50 例）
- ・上記試料を用いて測定する α -シヌクレイン、Tau、脂肪酸結合タンパク質（FABP3、FABP7）等の濃度・発現量データ、および付随する年齢層、性別、診断名、投与量、試料採取時点等の臨床情報

【研究実施施設】

静岡県立大学 薬学部 薬理学分野
東北大学大学院 薬学研究科

【個人情報の取扱いについて】

本研究は、個人情報 that 特定できない形で提供される既存試料・情報を用いる研究であるため、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」において、インフォームド・コンセントを受けない場合に必要とされる「研究対象者等に通知し、又は研究対象者等が容易に知り得る状態に置くべき事項」に従い、研究対象となる皆様へ本研究内容に関するオプトアウトについての本資料を提示いたします。試料・情報の提供・利用の停止をお申し出いただいた方の試料・情報は使用いたしません。また、提供・利用の停止のお申し出により、皆様に不利益が生じることは一切ございません。

試料・情報の提供・利用の停止のお申し出は、本研究の結果が学術論文として科学雑誌に投稿されていない段階であれば、随時承ります。

提供元施設において、研究対象者を識別する情報および対応表は削除された上で研究機関へ提供されるため、研究責任者および研究分担者が研究対象者個人を特定することはできません。試料・情報の漏洩、滅失又は毀損の防止その他必要かつ適切な安全管理措置を講じます。

【問い合わせ先】

静岡県立大学 薬学部 薬理学分野
研究責任者 教授 川畑 伊知郎
電話：054-264-5694
〒422-8526 静岡県静岡市駿河区谷田 52-1

研究分担者所属：静岡県立大学 薬学部 薬理学分野
研究分担者氏名：木村 俊秀、金子 雪子、山口 桃生